

実行委員会を通じた活動を通して、いろいろな子が自分の得意なことでリーダーになることができます。それは、常に決まった子どもばかりではありません。どの子にもチャンスがあるわけです。また、実行委員にならなかった子どもはフォロアーとしてそのイベントづくりの手助けができます。このことは、この活動を通して、リーダーシップとフォロアーシップを育てることができると考えられるのです。

☆イベント作りのポイント***

次にイベント作りのポイントをまとめてみます。

その1) 集会にこだわらない

「〇〇集会」だけでなく、「学級の歌づくり」や「学級ギネス大会」なども行います。授業にも生かすことができます。

その2) 継続を意図させる

せっかくイベントを行うのですから、一回きりで終わるのではなく、継続していけるようにしたいものです。学級目標の言葉を利用して「第〇回スマイル祭」などとすれば、どんなイベントも継続化されます。

その3) 壁を仕組む

イベントには、乗り越えさせる壁を意図的に仕組みます。次の3つを考えます。

- ア 学級をよりよくする活動であること
- イ 自分たちでつくる活動であること
- ウ 前回の失敗を生かす活動であること

☆実行委員会を使ったイベント例***

実行委員会を使ってこれまでに取り組んできたイベントを紹介します。

- ・オリジナル料理コンテスト実行委員会（5年）
家庭科の授業の発展から生まれた活動。審査員に校長先生や給食調理員さんなどを呼んで行った。
- ・給食席替え実行委員会（6年）
給食の時、いろいろな友だちと食べたいという願いから生まれた活動。
- ・世界のファッションショー実行委員会（6年）
国際理解をテーマにした総合的な学習から生まれた活動。グループを作って各国の特徴的な衣装をつかってファッションショーをした。
- ・何でもパーティ実行委員会（3年）
学級の誰かにいいことがあったときにパーティをしたいという思いから生まれた活動。給食の時間に簡単なお祝いをすることにした。
- ・じまん大会実行委員会（4年）
各自が取り組んでいることを紹介したいという思いから生まれた活動。

- ・学級の歌づくり実行委員会（3・6年）
学級の歌を作りたいという思いから生まれた生まれた活動。歌詞に入れることばをみんなから募集した。
- ・生き物のお世話実行委員会（3年）
教室で飼っている生き物のお世話ができていないという問題を解決しようということから生まれた活動。お世話当番を決めて、みんなでかかわる仕組みをつくった。
- ・たんけん実行委員会（2年）
生活科の地域探検の際に、その計画を立てたいという子どもたちが中心になってつくった活動。
- ・昔の遊び大会実行委員会（3年）
社会科で昔の暮らしの学習をした際、昔の遊びをやってみたいという願いから生まれた活動。家族や近所に住んでいるお年寄りにインタビューしながら内容を考えた。
- ・卒業実行委員会（6年）
卒業記念に思い出に残るいろいろな活動をしたいという願いから生まれた活動。

2 山口学級活動ネットワークから「冬の学習会」のお知らせ

本年度も、恒例の冬の学習会を実施いたします。

今回は、新学習指導要領実施に合わせて、特別活動の「不易と流行」に焦点を当ててみようと思っています。

期日 22年1月10日（日）

会場 山口県セミナーパーク 103号室

後援 山口県教育委員会

内容

9：00～9：10 開会行事

9：10～9：50 基調提案～不易と流行

10：00～12：00 実践「不易と流行」

佐賀大附属小 中村尚志先生

福岡市立有田小 野口博明先生

岡山県赤磐市立山陽小 岸本勝義先生

12：00～13：00 昼食

13：00～15：00 ワークショップ（小集団討議）

…「不易」の部分として、基本的な学級づくりの手法に
「流行」の部分として新しい考え方をどう仕組むかを
グループごとに討論する

コーディネーター

下関市立名池小学校 教頭 梶田 崇晴

15:10～16:40 特別講演

文部科学省 教科調査官 杉田調査官

～「新学習指導要領の特別活動実践上の不易と流行について（予定）」

16:40～16:50 閉会行事

会の後、新山口駅前のホテルで懇親会を予定しています。

参加申込みは

下関市立垢田小学校 西田までお願いします。

申込み方法は次の3つ

電話：083（253）5433 ファックス：083（255）0374

メール： t-nishida@sepia.plala.or.jp へ

ホームページ： <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第85号は、12月中旬ごろ発行予定です。

次号も、引き続き「元気が出る学級づくり」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は243名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。

今回から、新コーナーとして「ネットワークで考える学級づくりコーナー～学級づくり・学級活動で困ったこんな場面Q&A」を始めました。

取り上げてもらいたいお題をお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん，みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ，共有していきましょう。
どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

みなさんも，ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====